



雪印メグミルク

「酪農の未来を拓くお手伝い」

RDCD NEWSLETTER

～RESEARCH & DEVELOPMENT CENTER FOR DAIRY FARMING～

2026
9
No.9

Topic 01 酪総研がSNS (Instagram・YouTube) を開設！新たな情報発信をスタート！！

『酪農をもっと身近に！酪総研から酪農の魅力を全国へ！』

酪農総合研究所（以下、酪総研）は、2026年7月14日（火）より、公式InstagramおよびYouTubeを開設しました。

酪総研は1976年の設立以来、日本の酪農・乳業の発展を支えるため、酪農現場に密着した調査・研究を続けてきました。創立50周年という節目を迎えた今年、新たな情報発信の取り組みとしてSNSをスタートします。

近年、消費者と酪農現場との距離が広がる中、SNSを活用し、研究成果だけでなく、酪農の魅力や現場で働く人々の想いを、写真や動画を通じてわかりやすくお届けします。双方向のコミュニケーションを通じて酪農への理解を深めるとともに、持続可能な酪農やリジェネラティブな酪農の実現に向けた取り組みも積極的に発信していきます。

◆発信予定のコンテンツ◆

- ✓酪農現場や牧草地での調査・研究の様子
- ✓研究員の仕事や研究内容の紹介
- ✓酪農生産者の取り組みや経営への想い
- ✓酪農・乳業に関する豆知識
- ✓シンポジウムなどの各種イベント情報
- ✓動画による現地調査レポートや現場紹介 など

Instagramでは、写真を中心に研究現場の日常や活動をタイムリーに紹介します。YouTubeでは、研究内容をわかりやすく解説する動画や、現場取材、研究員へのインタビューなど、映像ならではのコンテンツを配信していく予定です。

酪総研はこれからも、酪農現場と社会をつなぐ架け橋として、日本の酪農・乳業の持続的な発展に貢献してまいります。ぜひ公式SNSをご覧ください、フォロー・チャンネル登録をお願いいたします。

◆公式SNSへのアクセス案内◆

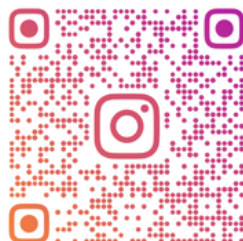
Instagram

アカウント名

雪印メグミルク 酪農総合研究所【公式】

(@megmilk_rakusouken)

Instagramの
二次元バーコードはこちら!!



MEGMILK_RAKUSOUKEN

YouTube

チャンネル名

雪印メグミルク 酪農総合研究所【公式】

(@酪総研チャンネル)

YouTubeの
二次元バーコードはこちら!!



Instagram投稿画面



YouTube投稿画面

酪農を身近に感じる情報を積極的に発信します！

7月1日に酪農学園大学の安宅一夫名誉教授が、今年3月に出版された書籍「酪農温故知新 ～乳と蜜の流れる郷を目指した先人に学ぶ～」の出版記念への御礼を兼ねて当社歴史館に来訪されました。

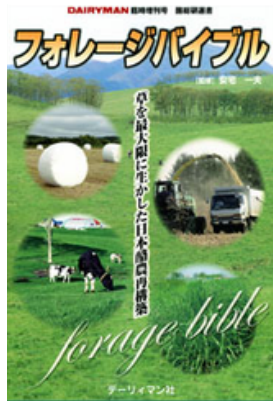
当日は、酪農と乳の歴史館の渋沢館長、酪総研からは村田副部長、本間課長、大山担当が対応し、近況報告やこれまでの活動について懇談を行いました。

安宅名誉教授からは、海外でのご活動についてのお話があり、ネパールやモンゴルを訪問されており、特にモンゴルでは、持続可能な放牧管理や草地保全などについてお話を伺い、農業分野の国際協力に精力的に取り組まれておられるとのことでした。

また、中国で予定されている国際フォーラムへの参加や、国内外の教え子たちとの交流や農業に関する著書の紹介など、幅広い活動についても話題となりました。国際交流と歴史継承の重要性を改めて共有するとともに貴重な機会となりました。



左から本間担当課長、大山担当、安宅名誉教授、渋沢館長、村田副部長



安宅先生が執筆された酪総研選書



日本で5対しかない乳牛（ホルスタイン種）のツループタイプ像（カワムラ・ゴソウ氏が103年前の1923年に製作）

酪総研 コラム

太宰治『失敗園』を読んで

太宰治の『失敗園』というお話はご存じだろうか。ある家の主の妻が、庭にたくさんの植物を植えたもののうまく育たず、その植物たちの囁き（愚痴や悲哀）が聞こえる主人が、それらを記録したという、とてもユーモアに溢れた作品である。読んでみると、植物たちの声がなんとも人間くさく、滑稽でありながら、どこか切実でもある。手をかけてもらえなかった寂しさや、思うように育てないもどかしさを、それぞれがひそひそと訴えてくるようで、思わず笑ってしまう一方、植物もまた置かれた環境に正直に生きているのだと気づかされる。

そんな作品を思い出すのは、春になり、牧草地の作業が本格的に始まるこの時期である。もちろん、私たちは『失敗園』の主人公のように牧草や雑草の囁きを直接聞くことはできない。けれども、実際に圃場に立ち、牧草の姿をよく見れば、その状態は確かに語りかけてくる。北海道自給飼料改善協議会が1997年から1999年にかけて実施した、全道12,003点の牧草地植生調査では、実に47.2%が雑草であったという。半数近い割合で雑草が占めていたという事実は、牧草地の実態を考えるうえで非常に示唆的である。しかし、このデータはすでに古い。そして何より、それぞれの圃場がいま本当はどのような状態にあるのかは、日々その草地と向き合っている酪農家にしか分からない。道路から、あるいは少し離れた場所から眺めれば、一面きれいな緑に見える圃場でも、実際に中へ入ってめれば雑草が優占していることもある。逆に、部分的な荒れが目についても、全体としては十分に更新の成果が出ている草地かもしれない。だからこそ、この春の作業の始まりにあたり、ぜひ実際に圃場で牧草の状況を見てほしい。葉の密度はどうか、越冬後の傷みはないか、雑草の侵入は進んでいるか。足元の草を見て、土を見て、圃場全体を眺めることで、今年必要な管理の方向が見えてくるはずである。

『失敗園』のように声そのものは聞こえなくても、圃場には確かに草たちのメッセージがある。よく整った草地であれば、牧草の歓喜の音が聞こえるかもしれない。反対に、雑草に押され、密度を失った草地であれば、助けを求める声が潜んでいるかもしれない。春の第一歩目は、まず圃場に立つことから。その観察こそが、今年の草地管理の出発点になるのではないだろうか。

（コラム執筆：佐々木貴史）

研究成果を、
“価値へ変える力”に。
酪農総合研究所
研究員 大山冬馬
Touma Ooyama

04

研究員紹介

【経 歴】

1991年 茨城県ひたちなか市出身

2014年 酪農学園大学 酪農学部 酪農学科（微生物利用学研究室：菊田治典 教授）卒業

【論文テーマ】

「野幌森林公園の樹種を異にする林相から分離された *Bacillus subtilis*」

【社 歴】

2014年 雪印メグミルク株式会社 入社

酪農部 北海道酪農事務所（幌延工場駐在）配属

2016年 酪農部 北海道酪農事務所（大樹工場駐在）配属

2021年 酪農部 東日本酪農事務所（東京本社）配属

2023年 酪農総合研究所 酪農研究グループ（北海道支社）配属

【学位・資格】

農学士/家畜商免許/北海道生乳取扱者認定技術員/ミルクングシステム点検技術者/第二級陸上特殊無線技士/二等無人航空機操縦士/第一種衛生管理者/第一種銃猟・わな猟狩猟免許/職業訓練指導員免許/秘書検定2級/中学・高校教諭一種免許/二級ボイラー技士免許/大型特殊自動車免許

【これまでの活動実績（学会所属・専門分野・調査研究等）】

日本農畜連携学会（学会員）/ 畜産経営経済研究会（研究会員）

酪農研究会（2019年10月）「十勝管内で発生した生乳の風味対応に関する事例報告」

酪農研究会（2023年10月）「酪農危機にどう立ち向かうか ～世界の酪農に学ぶ～」

酪総研懇談会（2025年11月）「研究所のプレゼンス向上に向けた技術普及強化プラン」研究報告書「多草種混播圃場における植生変化とその可能性に係る追跡」

「草地管理に向けた汎用性ドローン（UAV）空撮の試行と課題整理」

【その他の活動（主な役職等）】

北海道労働局 北海道地方最低賃金審議会（特定最低賃金専門部会）乳業労働者代表委員

日本食品関連産業労働組合総連合会（フード連合）北海道地区協議会 副議長

雪印メグミルク労働組合 北海道支部 執行役員 事務長

雪印メグミルク Project Polaris アクティブメンバー（宇宙領域に関する新規事業）

【関心領域】

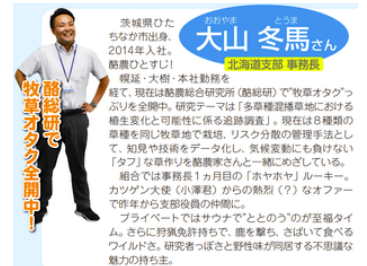
UAVを活用したスマート農業/農福連携/農場の有害鳥獣対策/広報ブランディング活動

【津田研究所長からの人物紹介】

大山研究員は、プレゼンス向上と新たな価値創出に挑戦する研究員である。酪農部では原料乳調達に従事、現地で信頼関係を構築し酪農現場で着実に実績を積上げてきた。現在は実証圃場、UAV活用の調査研究、技術普及業務に従事し、当社の宇宙領域新規プロジェクトにも参画、既存の枠組みに囚われない視点で業務に邁進している。労働組合では事務長、特最賞、食品連合の要職を数々務め、関係団体へ存在感を発揮、社外の信頼も厚い。柔軟な発想力と行動力に加え、明るく親しみやすい人柄と、周囲を巻き込む共感力の高さを持合せ社員にも慕われている。持前のバイタリシティと人間性を十二分に活かし、当社の未来を切拓く若手研究員として活躍を期待する。（研究所長：津田知亮）



日本獣医学会（宮崎県）へ野崎研究主事と参加



雪印メグミルク労働組合での役員紹介記事



津田執行役員・元日ハム 杉谷孝士さん、HBCテレビ 大竹アナと



尊敬する大先輩！（長野五輪金メダリスト 岡部さん・原田さん）